

## 「第3次生物多様性かぞ戦略」策定に伴う、欠席委員等からの意見等及び回答について

No.	意見等	回答	備考
1	<p>■資料2、No.4について</p> <p>① 資料1 (p37)、取組事業 I-1- (4) コウノトリ・トキをシンボルとした取組の推進、の指標についての私の意見に対する回答が、「…コウノトリを含め野鳥に関心を持っていただく周知・啓発活動が重要になってくる」とありますが、「渡良瀬遊水地エリア エコロジカル・ネットワーク形成アクションプラン (R6年10月)」のp5に、3つのテーマのうち、「保全・再生」が取組みのベースであること、が明示されており、p19には、保全・再生に係る『目標年度2030年』に向けた具体的実践項目が示されています。 本戦略の計画期間は、世界目標「ネイチャーポジティブを2030年までに実現」と同じく、2030年度まで、ですので、本来は、本戦略の策定に合わせて、保全・再生についての具体的な取組を定めることが必要に思いますが、どうしても間に合わないようでしたら、毎年、検討・公表される「加須市の環境」では、「環境関連計画の概要と成果」において、本戦略についての取組状況も取り上げられることと思いますので、できるだけ早く、保全・再生についての具体的な取組を定め、公表していただくようお願いいたします。</p> <p>② 資料1 (p41)、取組事業 I-4- (4) エコロジカル・ネットワークの推進、の取組内容等についても、上記と同じ意見です。</p> <p>③ 資料1 (p37)、取組事業 I-1- (3) 野生生物生息環境の保全、の指標、圃場整備率(面積)、生活道路側溝整備延長距離、は相応しくない、と意見したのに対して、 「当該指標はこのままとします」の回答は適当でないと考えます。 ただ、資料1 (p37)の指標からは、上記の圃場整備率(面積)、は相応しくない、と意見したのに対して、 「当該指標はこのままとします」の回答は適当でないと考えます。 ただ、資料1 (p37)の指標からは、上記の圃場整備率(面積)、生活道路側溝整備延長距離、は削除されているようですので、このまま削除としていただきたい。</p> <p>④ 資料1 (p45)、取組事業 III-2- (3) イベントなどの開催、の指標の内、市民平和祭、自転車競技大会及びトライアスロン大会は、生物多様性と関係しない、との私の意見に対する回答として、「生物多様性に係る周知・啓発ちらしを作成・配布する」とありますので、その回答自体を、取組内容等の欄に追記してください。</p> <p>⑤ 最後に、第1回・第2回の資料及び議事録の公開をお願いいたします。</p>	<p>① p.37では、資料2の回答で既に触れているように、指標を「野鳥観察会の参加啓発周知回数」とし、目標値を「3回」としています。</p> <p>② p.41は、資料2で回答しているとおり、このままとします。</p> <p>③ p.37は、回答文が誤表記でありましたので、修正し、No.1の奥貫委員への回答②のとおり、圃場整備率(面積)、生活道路側溝整備延長距離は削除します。</p> <p>④ p.45は、ご指摘のとおり、取組事業の説明文に④として、「生物多様性に係る周知・啓発ちらしを作成・配布します」と加えます。</p> <p>⑤ 会議録についてはすべて公開することとなっています。</p>	

No.	意見等	回答	備考
2	<p>① 本編</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P12 主な河川・用排水路</li> <li>④渡良瀬川：マイヅルテンナンショウ・ヌマアゼスゲ・ホソバイラクサ・タチスミレ・トネハナヤスリ・ハナムグラなどの希少植物が生育している。</li> <li>・P15 オニバス自生地 <ul style="list-style-type: none"> <li>アサザ・トチカガミは植栽では？</li> <li>フサモ・ヒシ・サガミトリゲモなどが生育している。</li> </ul> </li> <li>・P16 ⑭八幡沼周辺 チョウジソウ・ノカラムツが生育</li> <li>⑯として、愛の沼（釣り堀）：イヌタヌキモ・アゼオトギリ・ヒシ・ニガカシウなどが生育。以前はヒメシオンが生育していた。</li> <li>・P19 風の里公園 <ul style="list-style-type: none"> <li>アカノマンマとイヌタデは同じもののキノコは菌類の意味で削除したほうが良い</li> <li>・お花が池 アカツメクサ→ムラサキツメクサアカバナユウゲシヨウ→ユウゲシヨウ</li> <li>・オニアザミ：北陸～東北の日本海側の山地草原に分布で削除したほうが良い</li> <li>・カラスシシャク→カラスビシャク</li> <li>・グンバイナズナ→マメグンバイナズナでは？</li> <li>・タデ→イヌタデ・ヤナギタデなどがあり、はっきりしない</li> <li>・ノギク→キク科の植物全体を示してしまい。はっきりと特定できる種はない。</li> </ul> </li> </ul> <p>② 植物リストに関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体を通して、記録が古いものから新しいものまで入っており、出所がはっきりしなくてこのまま出すのは難しいのではと思われる。（NPO法人埼玉県絶滅危惧植物種調査団の方からの意見です。）また、門名や綱名・科名が現在使われているAPG体系やPPG体系とは異なってしまっている。新しいものに変えないといけない。</li> <li>・P68 <ul style="list-style-type: none"> <li>ミズワラビ→ヒメミズワラビ</li> <li>オシダ：山のものだが</li> <li>ホソバヤナギ：使われていない種名</li> <li>マテバシイ：植栽</li> <li>ハルニレ：山のものだが</li> <li>アキニレが抜けている</li> <li>イチジク：植栽</li> <li>マグワが抜けている</li> </ul> </li> <li>・P69 <ul style="list-style-type: none"> <li>ナガバギシギシが抜けている</li> <li>マルミノヤマゴボウ：山のものだが</li> <li>イヌコハコベが抜けている</li> <li>イノコズチ（ヒナタイノコズチ）が抜けている</li> <li>ホソアオゲイトウが抜けている</li> </ul> </li> <li>・P70 <ul style="list-style-type: none"> <li>キツネノボタン→ケキツネノボタン</li> <li>コキツネノボタンが抜けている</li> <li>ミチタネツケバナが抜けている</li> <li>グンバイナズナはあるの？</li> <li>ヤブヘビイチゴが抜けている</li> </ul> </li> <li>・P71 <ul style="list-style-type: none"> <li>ツチグリ：西日本に生育</li> <li>ウメ：植栽</li> <li>ソメイヨシノ：植栽</li> <li>ケナガボノシロワレモコウが抜けている</li> </ul> </li> </ul>	<p>①</p> <p>本計画は、p.20の「文献一覧」に示す一定の資料を元に見直しを行っているため、原則、原案のとおりとするも、環境科学国際センターなど専門機関等に相談・協議のうえ、修正すべきものは修正し、適切に対応します。</p> <p>② 上記①と同様。</p>	

カワラケツメイ：どこ？

・P72

アレチニシキソウが抜けている

ヤマモミジ：日本海側に生育。イロヤモミジでは？

ヒゴスミレ：中国産のものでは？北川辺にある。

アリアケスミレが抜けている。

ヒメビシ：ないのでは？又はかなり昔の資料では。出典が必要。

・P73

オヤブジラミが抜けている

レンゲツツジの出展は？

ギンモクセイ：植栽

キンモクセイ：植栽

リンドウ：出展が必要

センブリ；出展が必要

ガガブタ：出展が必要

アサザ：植栽では？

キョウチクトウ：植栽

ハナヤエムグラが抜けている

マメダオシ：出展が必要

アメリカネナシカズラが抜けている。

マルバアサガオが抜けている

マメアサガオが抜けている。

ホシアサガオが抜けている。

マルバルコウが抜けている。

・P74

ヒメサルダヒコ→ヒメシロネ

ヒロハフウリンホオズキが抜けている。

コキクモが抜けている。

ムラサキサギゴケとサギゴケは同じもの

オオカワヂシャが抜けている。

キバナヤセウツボが抜けている

タヌキモ→イヌタヌキモでは？

ツボミオオバコが抜けている。

サンゴジュ→植栽

ゴマギ→ゴマキ

・P75

オミナエシ：出展が必要

カワハハハコ：出展が必要

イナカギク：東海以西 シロヨメナでは。

シオン：植栽

コシロノセンダングサが抜けている。

アワコガネギク→キクタニギク

アメリカタカサブドウが抜けている。

チチコグサモドキが抜けている

タチチチコグサが抜けている

ミナミウラジロチチコグサが抜けている。

カセンソウ：出展が必要

ヨメナ：中部地方以西に分布 カントウヨメナのご同定では。

・P76

タムラソウ：出展が必要

オヤマボクチ：出展が必要

オナモミ：現在県内では見つからない。オオオナモミの可能性あり

オニタビラコ：現在はアカオニタビラコとアオオニタビラコに分かれている。

アギナシ：出展が必要

セキシウモ：出展が必要

ヒロハノエビモ：出展が必要

イバラモ：出展が必要、県内では現在絶滅状態。

<p>トリゲモ：サガミトリゲモでは？トリゲモは現在県内では見つ かっている。</p> <p>サガミトリゲモが抜けている。</p> <p>ホソバトリゲモが抜けている。 t</p> <p>ノビル：タチノビル・タレノビルに分かれる。</p> <p>キヌガサソウ：ご同定では？</p> <p>ハナニラが抜けている。</p> <p>ヒガンバナ：植栽</p> <p>オミナエシ：出展が必要</p> <p>カワラハハコ：出展が必要</p> <p>イナカギク：東海地方以西、シロヨメナでは</p> <p>シオン：植栽</p> <p>コシロノセンダングサ・コセンダングサが抜けている。</p> <p>アワコガネギク→キクタニギク</p> <p>アメリカカタカサブロウが抜けている。</p> <p>チチコグサモドキ・タチチチコグサ・ミナミウラジロチチコグサ が抜けている。</p> <p>ヨメナ：中部地方以西。カントウヨメナのご同定？</p> <p>・ P77</p> <p>ナツズイセン：植栽</p> <p>ナガイモが抜けている</p> <p>ミズアオイ：出展が必要</p> <p>ハナショウブ：植栽</p> <p>イ→イグサ</p> <p>ミノゴメ→カズノコグサでは？</p> <p>チガヤ：チガヤ（ケナシチガヤ）とフシゲチガヤに分かれている。</p> <p>ヌマガヤ：出展が必要</p> <p>・ P78</p> <p>アメリカスズメノヒエが抜けている。</p> <p>アワ：栽培</p> <p>マムシグサ：カントウマムシでは？</p> <p>タマミクリ：北海道、本州（中部地方以北）、中国、モンゴル、 ロシア、ヨーロッパ、北アメリカ、出展が必要</p> <p>テキリスゲ：出展が必要</p> <p>カンスゲ：出展が必要</p> <p>・ P79</p> <p>コアゼテンツキ・アゼテンツキ：出展が必要</p> <p>ショウガ：栽培</p> <p>シャジクモ：これを入れると緑藻植物門にはもっとたくさんの 藻類入ってしまいます。抜いてはいかがでしょうか。また、蘚苔類 はこれより維管束植物に近いので、蘚苔類も入れなくてはならな くなってしまいます。</p>		
---	--	--